

じんけん

誰一人取り残さない社会の実現をめざして

～浪速区のSDGsの取組み～



SDGsとは、地球温暖化や環境問題など17目標を2030年までに達成し、誰もが住み続けられる地球をつくる取り組みです。浪速区では、誰一人取り残さない住み続けたい浪速区を目指して、直面する社会課題や地域課題に連携・協力して取り組むべく、「浪速区SDGs推進連携宣言」を令和元(2019)年11月21日に採択し、区運営方針全体をSDGsの観点からとらえて、区政を進めます。

「SDGsとわたしたちの人権」を考える

2月10日(月)に、浪速区役所と大阪市人権啓発推進員浪速区連絡会の共催により広く区民に参加を呼びかけて、「地域ふれあいセミナー」を開催しました。

今回は「SDGsとわたしたちの人権」をテーマに、一般財団法人アジア・太平洋人権情報センター上席研究員 朴 君愛(ぱく くね)さんを招いてご講演いただきました。

〈「地域ふれあいセミナー」アンケートより抜粋〉

- 「誰一人取り残さない」ということがキーワードだと学びました。
- もっとたくさんの人に聞いてもらいたいですね。
- SDGsについて、ちょっと理解ができました。
- 少し難しいところがあったけど、大切なお話が聞けて良かったと思います。

SDGs推進連携宣言

世界中には貧困と飢餓に苦しみ、戦争の絶えない地域で暮らす子供たちが多くいます。また、気象の変化が激しく、大きな災害が各地で発生し、地球の温暖化が進んでいます。

わたしたちの使命は、この地球が持続可能な社会を形成していくために、様々な課題に向き合っていくことです。

わたしたちがくらす浪速区は、地域の力や企業の力が結集した、愛すべき素晴らしいまちです。

誰一人取り残さない、住み続けたい浪速区を目指して、直面する社会課題や地域課題に対して、みんなで連携と協力を進め、地域の発展に向けていっしょにSDGsの推進に取り組んでいくことを、ここに宣言します。

2019年(令和元年)11月21日

浪速区SDGs推進連携宣言式



浪速区人権啓発推進協議会

～人権尊重のまちづくりをめざして～

浪速区人権啓発推進協議会は、基本的人権の尊重を理念とする憲法の趣旨に沿い、区民の人権意識の確立と高揚を図り、人権尊重の明るいまちづくりを目的として、区内の各種団体ならびに官公署の代表等で構成された組織です。浪速区役所と連携しながら、区民のみなさん、区内各種団体のご協力をいただき、啓発活動、講演会、研修会などを実施しています。また、地域の人権啓発の担い手である人権啓発推進員の育成も図っています。